

2024年4月5日

第23回生コン技術大会

論文の作成に関する注意事項及び要領

1. 論文発表申込み、論文提出及び以降のスケジュール

論文の提出締切日は、**2024年9月2日（月）必着**です。

締切日の厳守をお願いいたします。

提出後の日程は、概ね次のとおりです。

4月上旬 論文 募集開始

5月31日 事前申込書提出締切

9月 2日 論文発表申込書及び論文提出締切

11月中旬 査読結果通知及び修正依頼

12月中旬 修正原稿提出締切

1月中旬 論文の最終原稿作成依頼又は論文発表の不採択通知

2月上旬 最終原稿提出締切

2. 論文の採否について

提出された論文は、論文査読委員会担当者による査読を行い、不適切な部分、修正を必要とする箇所については、個別にご連絡の上、対応をお願いすることになります。

主として下記の項目のいずれかに該当するかどうかに重点をおいて採否を判定します。

- a . 研究の対象に新規性、独創性があり、今後の発展性がある。
- b . 困難な技術的問題を克服したプロセスおよび結果が報告されている。
- c . 新しい成果が盛られている。
- d . 現象の解明に貢献している。
- e . 内容に総合性、普遍性があり、かつ工学上有用である。
- f . 計画、調査、設計、製造、管理などに取り入れる価値がある。

不適当と認められるものは、例えば以下のよう�습니다。

- a . 執筆要領が守られていない。
- b . 主題に対する基本的考え方、理論展開、または結論を導くプロセスに根本的な誤りがある。
- c . 論文として完結していない。
- d . 新しい知見が極めて少ない。
- e . 既発表とみなされる。
- f . 内容が宣伝に偏している。但し、論文の内容を説明するためには必要不可欠であり、かつ必要最小限の情報に関しては、その限りではない。

3. 論文作成上の注意

3. 1 論文の書式

原稿は、マイクロソフト社のWordで作成をお願いします。形式は、A4版(44字×42行×1段)の4または6枚のいずれかとし、「論文記載例」に従って文章・図・表・写真を適切にレイアウトして下さい。

原稿はPDFに変換して提出して下さい。(2月の最終原稿提出時は、Wordも提出いただきます。) PDFは、すべてのフォントを埋め込んで下さい。

また、ファイル容量が2メガバイト以下に収まるように作成して下さい。

なお、プリントアウトした原稿をスキャンして作成したPDFは受け付けられませんので、ご注意下さい。

原稿には、大幅な余白を残さぬようお願いします。原稿の上下左右の余白は、上25mm、下20mm、左25mm、右20mmにして下さい。

使用できる文字の字体(フォント)および文字の大きさは表-1に示すとおりです。

表-1 題目、著者、所属先、要旨、キーワード、本文等に
使用する文字の字体(フォント)および大きさ

| | 字体(フォント)の種類 | 文字の大きさ |
|-------|---|-----------|
| 題目 | MS Pゴシック | 16 ポイント |
| 著者 | MS 明朝 | 10.5 ポイント |
| | Times, Times New Roman (外国の方) | |
| 所属先 | MS 明朝 | 10.5 ポイント |
| | Times, Times New Roman (外国の企業、組織等) | |
| 要旨 | MS 明朝 | 10.5 ポイント |
| | 英数字はTimes, Times New Roman | |
| キーワード | MS 明朝 | 10.5 ポイント |
| | Times, Times New Roman (日本語訳のない専門用語) | |
| 本文 | 章、節、項: MS ゴシック 本文: MS 明朝、英数字は半角のTimes, Times New Roman | |

3. 2 題目

題目は、MS Pゴシック、16ポイントで左に4文字分のスペースを入れてから記載して下さい。

題目が2行になる場合の書き出しは、題目1行目の書き出しに合わせて下さい。

3. 3 著者

著者は、MS 明朝、10.5 ポイントで題目から2行あけ、中央揃えで記載して下さい。発表者を筆頭著者として発表者名の前に○印をつけて下さい。題目下に記載できる著者名は5名までです。○印の発表者は全生連に加盟する工業組合または協同組合の職員、所属する企業の役員・従業員に限ります。連名者4名の所属は限定されません。5名の所属については1頁目の最下段(欄外)に記載して下さい。6名以上の共同研究者を記載したい場合は論文の末尾に記載して下さい。

3. 4 所属先

所属先は、各著者名の右に付した*(アスタリスク)+数字に対応する脚注として、MS 明朝、10.5 ポイントで記載して下さい。所属は3行以内に収まるようにして下さい。なお、所属先は、表彰状、優秀論文賞賞状に記載されます。論文原稿および調査書の提出後は、変更を受け付けませんのでご注意下さい。

[注]法人種別は(株) (有) (一財) (一社) 等の省略形としても良い。

法人の省略形の記載には、記号の(株)および(有)等は文字化けの原因になるため使用しない。

法人名は正式の名称で表示し、JR、NTT、JH等の“通称”は用いない。

所属を委員会名にする場合、第三者が見た時、容易に委員会の趣旨が分かることが望ましい。

3. 5 要旨

要旨は、著者から2行あけて、MS ゴシックの「要旨：」に続けて改行せずにMS 明朝、10.5 ポイントで記載して下さい。長さは、4行から7行まで（概ね150字から270字程度）とします。

なお、略式の説明（以下、～と称す）は、要旨には記載せず、本文中に記載して下さい。

3. 6 キーワード

キーワードは、要旨から1行あけて、MS ゴシックの「キーワード：」に続けて改行せずにMS 明朝、10.5 ポイントで記載し、できるだけ2行以内に収まる語数として読点（、）で区切って下さい。

3. 7 本文

(1) 書式

本文は、キーワードから1行あけて記載して下さい。

章、節、項の見出しへは、MS ゴシック、10.5 ポイントで左端から、下記の[例]のように書き起こし、それだけで1行とて下さい。また、各章の見出しの上側は1行あけ、節、項の上側はあけないで下さい。

| | | | |
|-----|-----|-------------|--------------|
| [例] | (章) | 1. ○○○○○○ | ※ “1.” は全角 |
| | (節) | 1. 1 ○○○○○○ | ※ “1. 1” は全角 |
| | (項) | (1) ○○○○○○ | ※ “(1)” は半角 |
| | | ① (箇条書き) | |
| | | ② | |

(2) 内容

① 文章内の句読点は“、”と“。”で統一して下さい。

② 必要な場合を除き、宣伝に偏した記述は避けて下さい。また、使用材料で製品名は使用しないで下さい（必要があれば記号（T社等）で表記）。

3. 8 数式

数式は、半角のTimes、Times New Roman、10.5 ポイントで極力簡潔にまとめ、式の番号は(1)(2)(3)とし、式の最後に右寄せにして記します。

文中での呼称は、式(1)、式(2)とします。式または式の群の上下は1行あけて下さい。

[記載例]

$$Y = ax^2 + bx + c \quad (1)$$

3. 9 単位

単位は SI 単位とします。

cm, mm, m³, mm²などは、合字（1文字で表したもの）を使用しないで下さい。

3. 10 図・表・写真の作成方法

- ① 図・表・写真は、本文に近いところに配置して下さい。ページ幅一杯にならない図表は右寄せにして下さい。また、同一内容のデータ表とグラフ等との重複は避けて下さい。
- ② 図および写真は、カラーを使用するのはまいません。ただし、論文集は白黒印刷されるので、原稿作成時に白黒印刷をして記載内容が読み取れることを十分に確認して下さい。
- ③ タイトルの文字の字体（フォント）および大きさは表-2の通りです。また、図・表・写真の番号は、通し番号とし、章ごとの番号付けにはしないで下さい。なお、本文中で図・表・写真の番号を記述する場合も MS ゴシックとして下さい。“-（ハイフン）”は全角、数字は半角として下さい。

表-2 図・表・写真に使用する文字のフォントおよび大きさ

| | 字体（フォント）の種類 | 文字の大きさ |
|--------|----------------|-------------------------|
| タイトル | MS ゴシック | 10.5 ポイント |
| 図・表の文字 | MS 明朝, MS ゴシック | 本文と同程度が望ましい (数字のみ半角) |

- ④ 図・表・写真は本文と区別できるように、番号・タイトルを含む領域の上下を本文から1行ずつあけ、左側に本文が入る場合には、本文から各行2字分あけて下さい。
- ⑤ 図・写真の番号およびタイトルは図・写真（位置）の下に、表の番号およびタイトルは表の上に記入して下さい。
- ⑥ 図-1 および表-3 に示すように、図・表中の線の太さや文字に留意して下さい。作図・作表する場合は、図・表の外枠の線の太さは、1.5 ポイント程度、中の線は 0.5~1 ポイント程度が適切です。図・表中の文字は、読み取り易い大きさを確保して下さい。

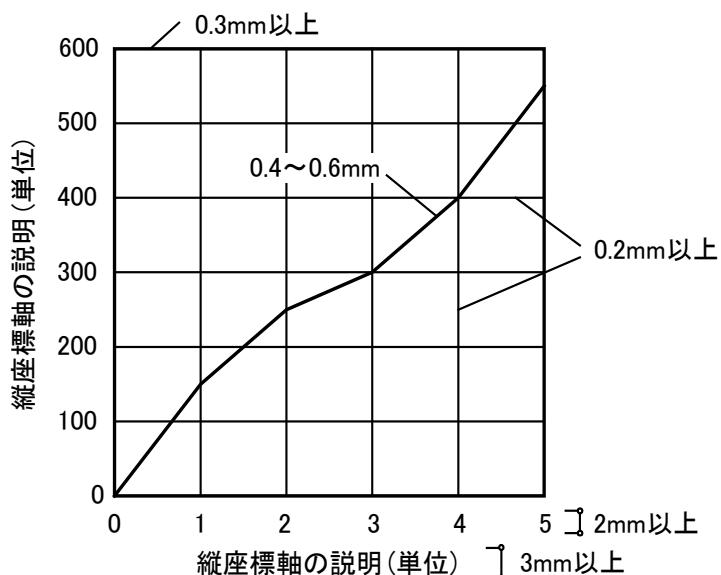


図-1 図の良い例と作図参考寸法

表-3 コンクリートの配合表（表の例）

| 粗骨材の 最大寸法 (mm) | スラ ンプ (cm) | 水セメ ント比 (%) | 空気量 (%) | 細骨 材率 (%) | 単位量(kg/m ³) | | | | |
|----------------------|------------------|-------------------|------------|-----------------|-------------------------|-----------|----------|----------|-----------|
| | | | | | 水 W | セメント C | 細骨材 S | 粗骨材 G | 混和剤 Ad |
| 20 | 8 | 47 | 4 | 35 | 150 | 319 | 650 | 1217 | 0.798 |
| 40 | 8 | 44 | 4 | 34 | 153 | 348 | 621 | 1210 | 0.870 |
| 40 | 8 | 44 | 4 | 34 | 153 | 348 | 621 | 1210 | 0.870 |

⑦ 内容上どうしても同一ページに載せる必要がある場合を除き、複数の図表のみのページを作ることのないよう、割付に配慮して下さい。

3. 1 1 参考文献

- ① 参考文献は、投稿時に既発表のものに限ります。
- ② 参考とした文献名は、記載順に半角の Times, Times New Roman, 10.5 ポイントで 1), 2) のように番号をふり、「結論」あるいは、「まとめ」のあとに MS ゴシック, 10.5 ポイントで「参考文献」と表示したあと、改行して列挙して下さい。1), 2) の後に、半角スペースを入れる。
- ③ 文献番号は、本文中または引用した図・表・写真のタイトルの最後に、上付数字で 1), 2), 3)... のように明記して下さい。
- ④ 記載方法
 - a) 論文等の場合
著者名：題名、誌名、Vol., No., 掲載ページ、発行年月の順とします。
 - b) 単行本の場合
著(編)者名：書名、発行所名、掲載ページ、発行年の順とします。
 - c) 和文原稿の著者名は必ずフルネームで記して下さい。もし、連名者が多い場合には、筆頭著者以外を「ほか」として省略しても結構です。
 - d) 欧文文献の著者名は、姓を先に記し、名はカッコのあとにイニシャルで示す。
また、連名者が多い場合には、et al.として省略して結構です。
 - e) 発行年月
和文原稿の場合、西暦に統一して、1988.11, 1991.2 のように記す。
欧文文献では、Nov. 1988, Feb. 1991 のように記して下さい。

[記載例]

参考文献

- 1) 日本コンクリート工学協会編：フレッシュコンクリートの単位水量迅速測定及び管理システム調査研究委員会報告書, pp.10-16, 2005
- 2) 岡田 清, 六車 熙編：コンクリート・ハンドブック, p.18, 朝倉書店, 1981
- 3) 森田司郎ほか：RC 外部柱・梁接合部の耐力と変形性状, コンクリート工学年次論文報告集, Vol.9, No.2, pp.175-180, 1987.6
- 4) Malhotra, V. M.: Superplasticized Fly Ash Concrete for Structural Applications, Concrete International, Vol.8, No.12, pp.28-31, Dec.1986
- 5) Collins, M. P. and Mitchell, D.: Shear and Torsion Design of Prestressed and Non-Prestressed Concrete Beams, PCI Journal, Vol.25, No.5, pp.32-100, Sep./Oct.1980

4. 論文の提出方法及び締切

PDFに変換した原稿は、2024年9月2日(月)17時【必着】までに、「論文発表及び改善事例報告申込書」とともに、下記Eメールアドレス宛にメールに添付して提出して下さい。その際、メールの件名は「第23回生コン技術大会論文発表申込み」として下さい。

PDFは変換後に印刷して、原稿のイメージがワードで作成したものと変わっていないかを必ず確認して下さい。特に、PDF変換後にページ数が7ページ以上に増えている場合があるので、よく確認して下さい。

なお、メールによる提出ができない場合は、プリントアウトした原稿および申込書とそれらのデータの入った記録メディア(USBやCD-R等)を、郵送または宅配便にて下記に送付して下さい(封筒の表には“第23回生コン技術大会論文原稿在中”と表記して下さい)。提出された記録メディアは返却いたしませんので、ご注意下さい。

締切を過ぎた場合は、原稿を受付けない場合もあるので、期限を厳守して下さい。

[提出先]

全国生コンクリート工業組合連合会 第23回生コン技術大会 運営委員会

E-mail : Ckikaku@zennama.or.jp

5. 著作権

掲載された論文等の著作権は、全国生コンクリート工業組合連合会に譲渡するものとします。ただし、著者本人が複製(複写、転載)することは妨げません。

6. その他

- ① 発表要領については、最終原稿完成後、ご連絡いたしますが、マイクロソフトパワーポイントによる発表と致します。作成頂くスライドサイズは、ワイド画面(16:9)または標準(4:3)どちらでも問題ございません。ただし、ワイド画面(16:9)で作成いただいた方が大きく投影できます。
- ② 疑問点、不明な点等がありましたら、生コン技術大会担当([企画部 TEL:03-3553-7231](tel:03-3553-7231))までご連絡下さい。

以上